

痴漢抑止バツジデザイン コンテスト2016



一般社団法人痴漢抑止活動センター

主催者 挨拶

一般社団法人 痴漢抑止活動センター

代表理事 松永弥生

「Stop痴漢バッジプロジェクト」は、一人の女子高校生のアイデアを学生が共有し、普及させていく取り組みです。

今回のコンテストには、全国から、79作品の応募がありました。松蔭高等学校（兵庫県神戸市灘区）、芦屋学園高等学校（兵庫県芦屋市）の生徒会のご協力を得て、審査員が1次審査通過作品12点を選定いたしました。

受賞5作品は、ギャラリー展示とインターネット上での人気投票を参考に、審査員が決定いたしました。

初めての試みにも拘わらず、多数の方々にご参加・ご協力いただいたことを感謝すると同時に、多くの方が痴漢被害に遭い苦しんでいることを改めて痛感いたしました。

私達は、「痴漢抑止バッジ」というツールを使い、性犯罪に対する社会の意識を変えてゆきたいと願っています。「立ちあがれJK!」のキャッチには、大人が、社会があなたたちを守るから、安心して声をあげてほしいという思いを込めています。

いつか、誰にとっても安心な車内となるよう性犯罪を許さない安全な社会を作って行きましょう。

最優秀賞



桑沢デザイン研究所 ビジュアルデザインコース 神崎遥 様

■デザインコンセプト

誰にも見つかからない・被害者には悲鳴をあげないだ
らうと見思っからい人許にさしは悲鳴をあげないだ
生も持つているといるといこの表現し意して、強い表現し意して、あか女と子高
校

バッジを付けているとこの運動の意味がないと思
い見たら忘れないインパクトの可愛らしいイラストを描
きました。

■痴漢抑止活動へのメッセージ

痴漢は、弱い者を狙った卑怯な犯罪だと思えます。
幸いにも私友人の被害には、深いダメージもありません。
被害を記憶して、私友人の被害には、深いダメージもありません。

犯罪者を逮捕するの「共感」は、ちろん重要です。が、心の
傷は癒えな、捕せな、共感うる「共感」は、ちろん重要です。が、心の
シに願って、捕せな、共感うる「共感」は、ちろん重要です。が、心の

優秀賞



東京理科大学 アユミ 様

■デザインコンセプト

痴漢を未然に防ぐために、加害者がバツジを見た瞬間にドキリとするようなデザインにしました。

■痴漢抑止に関するメッセージ

私自身が痴漢の被害にあいかけた際、隣に立っただけなのに『恥を知らなさい。』と一言で私を苦しめました。お婆さんが加害者になってくれないで私を苦しめず、お婆さんの勇気ある一言で、今度はお婆さんが誰かを守ることができればいいなと思います。

優秀賞

大阪芸術大学付属大阪美術専門学校
アート学科 コミックイラスト専攻

渡辺麻衣 様

■デザインコンセプト

め分、後てかきし
たた。しく大ジ
るえす告遠、一
す抑ま警はにメ
にをいて眼うイ
ン色てえのよを
イ。しらこう識す。
ザた。嚇と、合標ま
デし威をにが、い
なまを漢め目は、い
うり漢痴た、形し
よ作痴にるにの促
るにでぐすう体を
れル身す現よ全起
らプ全っ表く。喚
けンはまをつた。注
付シ一は志にし注意
日て夕眼意目まく
毎えクのいとしく
が抑ラつ強っしんや
生をヤた。ぱイリ
高色キふすもデザか
女子、ののままで分
女に猫ろいらくて



■痴漢抑止活動へのメッセージ

痴漢被害は、本人がなかなか言い出せず、ひとりで悩んでしまうことも多々あると思います。

そんな人達が声をださなくても意思表示できる、この痴漢抑止バッジは素晴らしいものだと思います。

このプロジェクトから社会の意識が上がり、みんなが暮らしやすい世の中になればと願っています。

審査員特別賞 (たか子賞)



愛知県立芸術大学
デザイン専攻

sosora 様

■デザインコンセプト

イマドキの女子中高生が服やバッグにアクセサリとポップなデザインにしました。

■痴漢抑止に関するメッセージ

私は男性なのですが、一部の痴漢に悩まされています。世の自分漢が減少してほしいです。

審査員特別賞 (タケルノミコト賞)



岡山県立大学

デザイン学部造形デザイン学科

ホノカ様

■デザインコンセプト

このプロジェクトのことを多くの人に知ってもらえるように、ロゴマークに使われているピンクとブルーをメインに使って、色数を抑えてデザインしました。

また、女性が身につけやすいように、ネコをモチーフにしました。

ネコの瞳には、「痴漢なんかには負けないぞ!」という強い意志を込めています。

このネコがバッジをつけている人たちのことを、守ってくれているイメージです。

小さな1つのバッジでも、少女たちの心強い味方になってくれるように、という想いを込めてデザインしました。

■痴漢抑止に関するメッセージ

痴漢の被害に悩んでいる人々を救うことのできる素晴らしいプロジェクトだと思い、今回のコンテストに参加させていただきました。その中で、被害者本人だけでなく、社会全体で痴漢防止について考えることが大切なのだと気づきました。

このように痴漢を未然に防げるバッジは、多くの人々の心強い味方になってくれると思います。

このプロジェクトで、多くの女性が安心して通勤・通学できる社会になるように願っています。